

2020年11月10日

各位

会社名 株式会社大戸屋ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 蔵人 賢樹  
 (コード番号 2705 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 澄川 浩太  
 (TEL 0422-26-2600)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日公表致しました「2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)」及び最近の売上動向等を踏まえ、「2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	17,978	△2,873	△2,731	△4,866	△672.32
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	24,579	△648	△569	△1,147	△158.47

#### 2. 通期連結業績予想修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、適切かつ合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき上記の通り業績予想を公表するものです。

当第2四半期連結累計期間におきましては、4月の政府による緊急事態宣言発令を受け、店舗休業及び営業時間の短縮を実施したことや、同宣言解除後も、新型コロナウイルス感染回避に伴う外出機会の減少、行政の要請に基づく営業時間の短縮、ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保のための客席数の削減など様々な負の影響が継続しております。

他方、当第2四半期においては足元の売上高は一定の回復傾向にあり、また今後は店舗運営・商品政策の改善による売上高の回復、コロワイドグループとのシナジーによる調達コストの低減、本部費をはじめとする経営効率の改善などを通じた収益性の向上に努めることで、当第3四半期以降においては当第2四半期連結累計期間に対して業績の回復を見込んでおります。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う大幅なマイナス影響を払拭することは難しく、2021年3月期通期におきましても各利益段階は損失となる見込みです。

(注) 上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上